

# 平成28年度 学校教育自己診断結果の分析と考察

大阪府立りんくう翔南高等学校

肯定率の多い項目.....

- ◎ 肯定率80%以上(A≥80)
- 肯定率70%以上(80>A≥70)
- ◇ 肯定率と否定率の差が、10未満(0≤A-B≤10)
- ▼ 肯定率と否定率の差が、否定(マイナス)に偏っている。(A-B<0)

(%) (%) (%) (%) (%) (%)  
 a)よくあてはまる    b)ほぼあてはまる    a+b    c)あまりあてはまらない    d)全くあてはまらない    c+d  
 (A)    (B)

**[まとめ]クラスは楽しく、生徒は校則・マナーをよく守っている。部活動、地域連携に課題がある。教員はよくまとまり、組織的に生徒指導ができています。**

項目	対象者	コメント	a)	b)	a+b	c)	d)	c+d
① クラスは楽しいか	生徒	◎ 概ね楽しいようである。	41.9	39	80.9	14.9	4.04	18.9
	保護者	○ 全く当てはまらない生徒もいる。全員がほぼ当てはまるようにしたい。	23	56.2	79.2	17	3.02	20
	教員	◎ 保護者や生徒の意識と教員の認識の間には、若干差があるようにもみうけられる。	17.3	76.9	94.2	5.77	0	5.77
2 授業は分かりやすいか	生徒	○ マイナス評価をしている生徒が、3人に1人程度いる。	9.16	54.7	63.82	29.3	6.68	36
	保護者	○ 保護者も4割弱、わかりにくいと答えている。	5.66	52.1	57.7	37	3.02	40
	教員	○ 教員のプラス評価が75%であり、生徒保護者の認識との間に開きがある。	9.62	65.4	75	17.3	0	17.3
3 生徒は、授業に集中しているか。	生徒	○ 生徒自身は、集中していると答えている割合が高い。	21.4	52.8	74.22	21.6	4.04	25.6
	保護者	○ 保護者は、やや割合が低く、どちらかと言えば、先生の感覚に近い。	12.5	50.9	63.4	30.9	3.02	34
	教員	○ 教員は、集中できていない生徒が一定数いると認識しているようだ。	5.77	53.8	59.6	32.7	0	32.7
4 興味関心に応じた選択科目が多い。	生徒	○ 概ね、良い評価をしている。	17.5	43.3	60.8	32.5	6.37	38.8
	保護者		12.5	49.8	62.3	29.8	5.28	35.1
	教員		5.77	61.5	67.3	30.8	1.92	32.7
⑤ 服装・頭髪等生徒指導について	生徒	○ 生徒・保護者、教員ともに、きちんとできているという回答が多い。	36.6	38.8	75.47	17.2	7.14	24.4
	保護者	○ ただし、コメント欄には、学年間に指導の差があるのではないかと指摘がある。	26.8	47.5	74.3	19.6	5.66	25.3
	教員	◎	15.4	71.2	86.5	13.5	0	13.5
⑥ 校則・マナーの遵守	生徒	◎ 生徒、保護者は十分、校則を守りマナー違反も少ないと思っている。	44.9	45.7	90.5	7.45	1.71	9.16
	保護者	◎ 教員は、生徒の校則違反・マナーについては厳しい認識である。	36.2	50.6	86.8	10.9	1.51	12.5
	教員	◎ 教員と生徒保護者の間にはかなりの認識の差がある。	7.69	44.2	51.9	48.1	0	48.1
7 学校の相談体制	生徒	○ 保護者・教員は、わりとよく相談に乗っていると認識しているようだ。	15.5	41.8	57.3	31.8	10.6	42.4
	保護者	○ 生徒は、4割程度があまりそうは思っていない。	12.1	56.6	68.7	24.5	2.64	27.2
	教員	○ 保護者コメントにも親身でないという訴えもあった。生徒との関わりを工夫すべきか?	17.3	61.5	78.8	19.2	1.92	21.2
8 進路情報について	生徒	○ 生徒保護者とも概ね学校からの情報は得ている。教員側とは意識のずれが大である。	20.7	43.8	64.4	29	6.37	35.4
	保護者	○ 教員は、十分あてていると思っているが、生徒・保護者との意識の差あり。	13.7	53	66.7	28.1	1.11	29.3
	教員	◎ 方法・頻度の工夫をすべき	7.69	73.1	80.8	17.3	1.92	19.2
9 実力診断テストと進路指導の関係	生徒	○ 生徒と教員は、ほぼ同じような認識である。	15.1	36.8	51.9	36.5	11.5	48
	保護者	○ 保護者は期待が大きい。内容や活用の工夫、別の方法を考える必要があるかもしれない。	12.8	57	69.8	24.5	2.64	27.2
	教員		5.77	46.2	51.9	42.3	5.77	48.1
10 学校行事について	生徒	○ 3者とも、楽しいと答えている割合がかなり多い。	34.5	33.4	67.9	20.4	11.7	32.1
	保護者	○ コメントでも、改善点を要望するなど、生徒保護者共に、非常に前向きで期待感も多そうである。	27.5	46.8	74.3	20	4.53	24.5
	教員	○ 文化祭、体育祭の改善に加え、球技大会の実施の要望が多い。学習発表会への期待感も大きい。	7.69	57.7	65.4	26.9	7.69	34.6
11 生徒会活動	生徒	▼ 生徒・保護者の評価があまり高くない。	9.47	33.2	42.7	42.5	14.3	56.8
	保護者	○ 特に、生徒の評価がマイナスである。	7.55	41.1	48.7	39.2	5.28	44.5
	教員	○ 教員は、わりと高い評価をしている。教員の取り組み感が高いが、内容をよく見極めていく必要があるだろう。	7.69	63.5	71.2	26.9	1.92	28.8
12 部活動	生徒	▼ 部活動の評価は、3者とも高くない。	12.4	30.4	42.9	39	17.7	56.7
	保護者	▼ 教員の回答に、部活の活性化を挙げるコメントが多かった。	9.06	37.7	46.8	38.1	9.06	47.2
	教員	▼ 学校全体で、活性化を図る必要があるだろう。	3.85	40.4	44.2	51.9	3.85	55.8
13 命の大切さ・社会のルール	生徒	○ 教員は、高い意識を持って、学ぶ機会を作っていると思っている。	12	43.9	55.9	34.9	9.01	43.9
	保護者	○ 一方、生徒は、それほど意識を高く持っていない現状があるようだ。	9.43	53.2	62.6	27.9	3.77	31.7
	教員	◎ 内容、及び伝え方の工夫、頻度を考えていく必要があるだろう。	17.3	69.2	86.5	13.5	0	13.5
14 災害対応・訓練について	生徒	○ 概ね評価はされている。	15.2	47.7	62.9	28.9	8.07	37
	保護者	○ ただし、教員の取り組みの意識と生徒や保護者への伝わり方には、温度差があるようだ。	13.6	47.5	61.1	29.1	2.26	31.3
	教員	◎	21.2	67.3	88.5	9.62	0	9.62
15 校内学習環境の整備。	生徒	○ 3者とも概ね整備ができていると答えている。	16.1	52.3	68.5	24.5	6.83	31.4
	保護者	○ 施設の老朽化などを指摘するコメントが多かった。	9.06	58.5	67.5	23	5.28	28.3
	教員		7.69	61.5	69.2	28.8	1.92	30.8
16 清掃活動	生徒	○ 若干、教員の評価は低いが、清掃活動には、わりと取り組んでいるという回答結果であった。	25.2	47	72.2	22.4	5.28	27.6
	保護者	○ 全教職員でさらに美化活動を推進していきたい。	20	53.2	73.2	20	1.51	21.5
	教員		7.69	57.7	65.4	32.7	1.92	34.6
17 地域連携	生徒	▼ 教員は、かなり意識して活動している。	10.9	25	35.9	39	25	64
	保護者	▼ 生徒の意識はやや低め。部活などでは、よく取り組んでいるというコメントもあった。	9.81	34.7	44.5	39.6	9.06	48.7
	教員	○ 保護者・生徒を巻き込んで、取り組みを広げていくべき。	9.62	65.4	75	25	0	25
18 学校からの情報提供・連絡	生徒	○ 概ね、実施されているが、足りないとの指摘のコメントもあった。	23.3	42.1	65.4	25	9.32	34.3
	保護者	○ 進路関係・成績関係等、非常に大切な情報もあるので、100%に近づける必要があるだろう。	30.6	38.1	68.7	26.8	4.53	31.3
	教員	○ ホームページの活用などをより一層図っていく必要がある。	5.77	73.1	78.8	21.2	0	21.2
19 授業アンケート、授業公開等	生徒	○ それほど高くない。敷居の低い学校をめざすなど、積極的な取り組みや工夫が必要。	15.5	40.4	55.9	33.4	10.4	43.8
	保護者	○ 授業公開に積極的に努め、さらに、地域や保護者とつなぐを強めていく必要がある。	11.7	43	54.7	33.2	4.53	37.7
	教員		13.5	51.9	65.4	32.7	1.92	34.6
20 PTA活動への取り組み	保護者	○ 教員・保護者ともにそれほど高くない。	9.81	41.9	51.7	37.7	4.15	41.9
	教員		9.62	44.2	53.8	34.6	11.5	46.2
21 生徒指導の組織力	教員	◎ 非常に組織的に対応していると認識している。 	15.4	75	90.4	7.69	1.92	9.62
22 組織的指導	教員	◎ 問題行動の未然防止につとめている。 	17.3	75	92.3	5.77	1.92	7.69
23 教員間連携	教員	◎ 教員間のまとまりは、非常に高い。 	7.69	76.9	84.6	15.4	0	15.4
24 教員の自己研さん	教員	◎ 十分に自己研さんに努めている。 	15.4	69.2	84.6	11.5	0	11.5
25 ALへの取り組み	教員	○ 意識の強弱はあるが、ほぼ全員(96%程度)が取り組んだ。	3.85	50	53.8	38.5	3.85	42.3
26 ALへの取り組みやすさ	教員	◎ ALへの取り組みやすさは、教科間に差がある。	36.5	59.6	96.2	0	0	0
27 自供下でのAL取り組み	教員	○ 自教科は取り組みやすい、とこたえたのは6割程度。	17.3	46.2	63.5	23.1	9.62	32.7
28 ALの意義	教員	○ ALの意義には高い数値が出ている。	11.5	61.5	73.1	23.1	0	23.1
29 AL/生徒の状況	教員	▼ 本校生徒は、ALに非常に取り組みにくいとの回答が多い。授業の初めに目標(めあて)を明確に生徒に示したり、振り返りを必ず行うなど、ファシリテーション力や授業力を高め、全員で組織的に取り組む必要がある。	0	26.9	26.9	61.5	7.69	69.2

(AL = アクティブラーニング)